

平成 23 年度実践報告会

「自分の特性や課題がわからない」と悩む発達障害のある方、またはその疑いのある方の就労相談が増えています。このような場合、実践的な職業体験とその振り返りを通して、ご自身の特性についての理解を深めていく支援過程が重要になります。しかし既存の障害福祉サービスでは、障害の認識があることが利用の前提となっており、このような方々が利用できる社会資源は限られています。

そこで、横浜市では、平成 23 年度より、発達障害者の就労支援の取り組みをモデル的に実践・評価し、有効な支援方法を確立すること、またこの事業により得られた手法(効果)を他地域に普及させることを目的として、発達障害者支援開発事業(発達障害者就労支援事業)を実施しています。また神奈川県労働局では、平成19年度より若者コミュニケーション能力要支援者就職プログラムを実施し、就職支援ナビゲーターを中心に、コミュニケーション能力や対人関係に不安を抱える若者の職業相談にに応じています。そして最近では、障害者自立支援法に基づく就労移行支援事業所においても、発達障害のある方々からの問い合わせや利用希望が増えてきました。

この度、横浜市発達障害者支援センターでは、上記の取り組みについてスピーカーをお迎えし、実践報告会を開催いたします。この機に、是非多くの皆様にご参加いただき、活発な意見交換をお願いいたします。

◆◆ プログラム(予定) ◆◆

日 時: 2012年3月2日(金) 13:00~17:00 (12:30 受付開始)

場 所: 神奈川県総合薬事保健センター 多目的ホール

定 員: 300 名

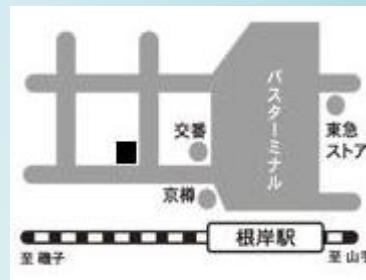
締 切: 定員になり次第締め切ります

参加費: 無料

主催: 横浜市発達障害者支援センター

横浜市発達障害者支援開発事業「企画・推進委員会」

横浜市



- ◇13:00 開催のご挨拶
- ◇13:10 現状と課題、モデル事業実施の背景について
柴田 珠里(横浜市発達障害者支援センター・発達障害者支援マネージャー)
- ◇13:30 《報告》職業相談の現場から
本多 恵美子氏(川崎北職業安定所・就職支援ナビゲーター(発達障害者等支援分))
- ◇14:00 《報告》「発達障害者支援の実際～就労移行支援事業所における支援実態～」
志賀 利一氏(独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園)
- ◇15:00 《報告》「発達障害者就労支援事業(モデル事業)報告」
鈴木 慶太氏(株式会社 Kaizen・代表取締役)
- ◇15:50 質疑応答
《指定討論者》 渡部 匡隆氏(横浜国立大学・教授)

お席と資料の確保のため、参加を希望される方は、裏面の申込書にご記入の上、FAX でお申し込みください。

問い合わせ・申し込み

横浜市発達障害者支援センター

〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町3-35-8 7F
TEL:045-290-8448 FAX:045-314-9666

